

クロアチア情勢

主な出来事

2017年7月

内政

- 1日、クロアチア内務省は6月30日、オトチャツツ市においてクロアチア海外移民団体が設置しようとしたウスタシャ司令官の記念碑を押収した旨発表。これに関し、プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長はウスタシャを正当化するような動きを非難。
- 2日、独立民主セルビア党(SDSS)の党大会が開催され、新党首にプポバツツ議会議員を選出。
- 9日、HNSがHDZと連立したことに反発しHNSから離脱した、ムラク=タリタシュ元建設・都市計画相率いる、新政党市民民主連盟(GLAS)が発足。
- 14日、クロアチア最高裁判所長官にセッサ判事が指名され、賛成84票、反対33票、棄権14票で議会が承認。
- 14日、クロアチア議会は、4つの国家的関心事項と9つの戦略目標を掲げ、国家の安全保障のビジョンやコンセプト等を規定した新国家安全保障戦略を可決。
- 17日、スプリット市近郊のオミシュ市で山火事が発生、強風で延焼が広がる。
- 18日、山火事対応に関し、グラバル=キタロビッチ大統領が国防軍の対応を非難すると受け取られる発言を行い、クルスティチェビッチ国防相が辞任を表明。これに対し、グラバル=キタロビッチ大統領とプレンコビッチ首相は慰留。
- 19日、スプリット市近郊の大規模な山火事は沈静化。
- 24日、クルスティチェビッチ国防相は辞任を撤回。

外交

- 1日、ドブロブニクにおいて、第12回ドブロブニク・フォーラム開催。プレンコビッチ首相、ヤンドロコビッチ議会議長、ペイチノビッチ=ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相らが出席。
- 1日、スロベニアの監視船がクロアチアの領海を侵犯したとして、クロアチア警察は警告を発出した一方、スロベニア警察は、クロアチアの漁船がスロベニアの領海を侵犯したとして、警告を発出。
- 3日、スロベニア政府は、クロアチア政府に対して6月29日に発表されたクロアチア・スロベニア間国境確定問題に係る常設仲裁裁判所の裁定結果の履行を求める口上書を発出。

●4日、ティーマンス欧州委員会筆頭副委員長は、クロアチア・スロベニア間国境確定問題に係る常設仲裁判所の裁定結果を両国が遵守すべきだとの立場を表明。これに対し、クロアチアは反発。

●4日、ペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相は、1日に発出したスロベニアのクロアチアに対するピラン湾での領海侵犯を受け入れることはできず、このような行為を停止するよう求める旨発言。

●6日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ポーランドで開催された3海域イニシアティブ会合に出席。また、同会合にゲスト参加したトランプ米大統領と会談。グラバル＝キタロビッチ大統領は、トランプ大統領の同イニシアティブへの参加及びクロアチア・スロベニア国境画定問題に関して米国が本件に関して中立的立場を取ったことに感謝した。なお、両大統領は、クルク島のLNGターミナルの建設についても意見を交換し、トランプ大統領は、本イニシアティブが中東欧地域のエネルギー・インフラ事業に貢献するだろうと述べた。

●6日、ボジノビッチ内務相はエストニアで開催された司法・内務大臣非公式会合に出席。

●6日、プレンコビッチ首相は、訪問先のサラエボにおいて、ザエフ・マケドニア首相と非公式会談を実施。

●7日、サラエボにおいて、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ全大臣会合が開催。二国間の協力強化、ペリエシャツ橋の建設、テロ対策等について意見交換。会談後、メドベド退役軍人相とチャバラ・ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦大統領(クロアチア系)は元クロアチア防衛評議会のメンバー及びその家族の権利確立のための方針について協議。

●7日、グラバル＝キタロビッチ大統領とドゥダ・ポーランド大統領は、二国間会談を行い、3海域イニシアティブ会合の成功を祝福。会談直後、クロアチア・ポーランド企業間で5つの覚書が署名された。

●10日、ビショップ豪外相が当国を公式訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。二国間関係強化等について意見交換。

●10日、プレンコビッチ首相は、ドブロブニクにおいてラガルドIMF事務理事と会談し、クロアチアのマクロ経済状況及び財政の安定化等について意見交換。

●10日、ペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相は、ブダペストで開催されたV4会合に参加。また、シーヤールトー・ハンガリー外相と会談。INA・MOL問題等、二国間の経済関係の発展について意見交換。

●11日、チュニジア海軍練習艦がスプリット海軍基地に寄港。チュニジア海軍船舶のクロアチア寄港は初。

●11日、ブルガリアで行われた多国間軍事演習にクロアチア軍も参加。

●12日、プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相は、トリエステで開催されたペルリンプロセス首脳会合、外相会合にそれぞれ出席。

●12日、プレンコビッチ首相はスロベニアを訪問し、ツェラル首相と会談。クロアチア・スロベニア国境画定問題の裁定結果に対して、クロアチアは本裁定を履行する気がなく、スロベニアはクロアチア側に本決定の履行を求めていることから、両者の意見の相違が確認された。

- 12日、クルスティチェビッチ国防相は、米を訪問し、マティス米国防長官と会談。二国間の戦略的協力、安全保障、クロアチアのアフガニスタンやコソボにおけるNATOミッションへの貢献、米国戦闘機の購入等について意見交換。
- 13日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相、ペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相は当国訪問中のアブダラーUAE外相と会談し、6月1日にエミレーツ社のザグレブ・ドバイ間の直行便の運航が開始されたこと等、二国間経済関係の発展について意見交換。
- 17日、ペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相は、ブリュッセルで行われたEU外相会合に出席。
- 18日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ザルツブルグにてパホル・スロベニア大統領、ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領と会談。移民・気候変動・ブレグジット等の問題解決に共同して働きかけ、優先的にEUの将来に向けて取り組む必要性がある旨合意。
- 19日、ピノッティ伊国防相が当国を訪問し、プレンコビッチ首相及びクルスティチェビッチ副首相兼国防相と会談。二国間関係、国防・安全保障分野での協力、山火事への対応、移民問題対応等につき協議。
- 20日、岸外務副大臣が当国を公式訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相を表敬訪問。二国間の政治・経済の全般的な関係強化、南東欧地域のEU・NATO加盟等について意見を交換。
- 20日、モグリーニEU上級代表が当地を公式訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相と会談。南東欧地域の安全保障と安定、EU拡大政策等について意見交換。
- 25日、プレンコビッチ首相は、当国を公式訪問したラタス・エストニア首相と会談。両首相は、エストニアのEU議長国任期中の優先課題である欧州のデジタル化及び両国の経済・外交・移民・EU加盟国の拡大・NATO内協力について意見交換。
- 25日、ダリッチ財務・中小企業担当相は、ポチヴァルシェク・スロベニア経済開発・技術相と会談し、二国間の経済協力関係は良好であるとし、更なる関係発展やアグロコル法について意見交換。
- 26日、欧州司法裁判所は、難民が最初に足を踏み入れたEU加盟国で難民認定を申請するというEU規制(いわゆる「ダブリン規則」)に従わず、クロアチア政府が不法入国した申請者のスロベニアへの渡航を支援していることから、難民の国際的保護の責任を果たしていないと指摘。

経済

- 3日、クロアチア国立銀行は、2017年第1四半期の経常収支を公表。経常収支は15.3億ユーロの赤字となったが、赤字幅は前年同期比で2.6%縮小。所得収支は堅調だったものの、貿易収支は赤字を拡大、サービス収支は黒字を縮小。
- 4日、欧州投資基金とErste銀行は、クロアチアの中小企業向けに今後2年間で1億ユーロの融資を行うことを保証する契約に署名。本事業は、市場にイノベーションを導入するため、EUが支援するファイナンスに、中小企業がより良い条件でアクセスできるよう支援するもの。

●14日、信用格付会社フィッチ・レーティングスは、クロアチアの信用格付を公表。外貨建て及び自国通貨建て発行体デフォルト格付けを「BB」, 将来見通しを「安定的」とする評価を据え置き。経済は良好なサイクルから利益を得ているが、アグロコル問題が2017年の経済成長にネガティブな影響を与えるとコメント。

●19日、クロアチア国立銀行は、経済見通しを公表。2017年のGDP成長率を、当初の2.8%から3.0%に上方修正。このところの好調な輸出と投資(EU基金の流入等)の動きを反映。

●20日、プレンコビッチ首相は、ラムリャック管財責任者よりアグロコルの管理に関する進捗レポートを受領したと発表。管理開始からの3カ月間でアグロコルの経営は安定し、雇用は維持されたとコメント。

●20日、欧州連合統計局は、加盟国の一般政府債務残高を公表。クロアチアの2017年3月末時点の債務残高は3,004億クーナ、対GDP比86.5%となり、2016年末時点の同85.4%からやや上昇。

●26日、ラムリャック管財責任者は、アグロコルに対する債権者団体が、小規模事業者2,100団体に対する総額1.32億クーナの債務を完全に支払うことを決定し、27日から支払いを開始すると発表。

●27日、政府は、2018～2020年における経済財政政策ガイドラインを承認。2018年のGDP成長率は+2.8%, 財政収支GDP比は▲0.8%との見通し。

●27日、パビッチ労働・年金システム相は、2017年の外国人労働者の受入数を2,053人増やすことを発表。今秋に計画されているインフラ投資に対応するため、建設部門の労働者に限定し認めるものことと決定。

主要経済指標

(2017年月次データ, 政府統計局発表)

| 輸出総額(5月) | 輸入総額(5月) | 貿易赤字(5月) | 工業生産高(6月) 対前年同月比 | インフレ率(6月) 対前年同月比 | 失業率(登録制)(6月) |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 413 億クーナ 55 億ユーロ (+15.7%) | 669 億クーナ 90 億ユーロ (+12.1%) | 256 億クーナ 34 億ユーロ (+6.7%) | +4.0% (5月:+3.3%) | +1.1% (5月:+1.1%) | 10.8% (5月:11.7%) |

※輸出総額, 輸入総額, 貿易赤字の括弧内の数字は, 対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。